

コード	501041602
記入日:	H22.7.7

課コード	124
課名	学校教育課
課長名	竹中次郎
担当者	濱崎健也

事務事業途中評価表

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	中学校耐震化・大規模改造事業
----------	----------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 26 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	501	施策名称	学校教育の充実	項コード	3
基本事業コード	50104	基本事業名称	教育環境の整備	目コード	1
事務事業コード	5010416	事務事業名称	中学校施設整備事業費	細目コード	983
関連計画			法令・条例規則等	安全・安心な学校づくり交付金交付要綱	

計画(PLAN) ※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標					
(対象1)	中学校	(対象指標1)	6校				
(対象2)	中学校生徒	(対象指標2)	731人(H21.5.1現在)				
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
町内の全中学校校舎及び体育館の耐震化改造等事業の実施 12棟 (校舎=8棟 体育館=4棟)	<ul style="list-style-type: none"> ●若松中学校校舎補強・大規模改造工事 2棟 ●北魚目中学校校舎補強・大規模改造工事 1棟 ●北魚目中学校校舎耐震診断・補強設計 3棟 ●上五島中学校校舎大規模改造工事設計 ●上五島中学校体育館大規模改造工事設計 	耐震診断及び実施設計	6棟	50%	耐震化工事数÷耐震化工事必要件数	平成22年度	
		耐震診断及び実施設計	1棟	100%		平成21年度	
		①	(達成率分析) 計画どおり1校分の耐震及び設計等の委託を発注した。				
		②	*****	*****	*****	*****	*****
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)					
学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であると共に、災害発生時には地域住民の避難場所ともなる施設として重要な役割を担っている。このような役割を踏まえ、耐震診断の結果に基づき耐震補強・大規模改造事業を行い、安全安心な学校づくりを推進し、児童の教育環境の整備を図る。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
		耐震化	2棟	16.7%	耐震化工事実施件数÷耐震化工事必要件数	平成26年度	
		耐震化	2棟	100%		平成21年度	
		①	(達成率分析) 計画通り、2校分の耐震化が完了した。				
②	*****	*****	*****	*****	*****		
		(達成率分析)					

実施(DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 棟	12	6	5	1	1	2	0	2	2	0
	② 件										
成果指標	① 棟	12	2	0	2	2	2	2	2	2	2
	② 件										
総事業費C (A+B)	千円	963,387	227,214	24,942	229,900	202,272	241,660	15,151	205,225	35,809	210,700
直接事業費 A	千円	914,387	213,214	17,942	222,900	195,272	234,660	8,151	198,225	28,809	203,700
人件費 B	千円	49,000	14,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
内訳	従事職員数	人	7.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円	298,439	100,199		56,800	100,199	74,627		99,112	67,900
	県補助金	千円									
	起債	千円	560,400	103,000	12,800	145,900	90,200	145,600	5,700	94,100	27,300
	その他	千円	31,270	4,514		20,200	4,514	11,070			
一般財源	千円	73,278	19,501	12,142	7,000	7,359	10,363	9,451	12,013	8,509	13,800

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	学校教育法第5条により学校の管理および経費の負担は設置者の責務である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	安全で快適な教育環境を整備することは町の責務である。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	教育環境を整備することであり適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	耐震補強、大規模改造工事を実施し、目的は達成されている。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	耐震診断及び整備計画に沿っているが、早期着手により成果向上できる。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	施設の安全性が確認できず、授業に支障がある。
	類似事業との整理統合はできませんか。	できる ●できない	理由	単一の事業であり、関連する事業はない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由	入札の実施で、事業費が削減されている。
	人件費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由	最小の人員で行っているため、削減できない
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	教育施設を整備することは町の責務であるため、受益者負担は発生しない。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ計画を見直す必要はない。
		有効性	安全で安心な教育環境の整備が図られており、地域防災への役割も果たしている。
		効率性	適正な維持管理に努めている。
		課題に向けた改善策	特になし
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
有効性		学校の安心・安全な教育環境整備のため計画に基づき事業を進めること。	
効率性		経費の執行については、適正に行うこと。	

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。